

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- |   |      |   |  |   |
|---|------|---|--|---|
| 1 | 会議名  | 大垣特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)  |  |   |
| 2 | 開催日時 | 令和8年1月28日(水) 10:00~12:00  |  |   |
| 3 | 開催場所 | 大垣特別支援学校 音楽室  |  |   |
| 4 | 参加者  | 会長<br>副会長<br>委員   | 後藤 悦子<br>伊藤 三枝子<br>加藤 千恵美<br>国枝 由道<br>西山 葉子<br>林 憲子<br>村上 敏之<br>山口 敏文<br>山田 晃嗣     | 障がい者相談支援事業所ゆう 所長<br>清流の国ぎふ女性防災士会 会長<br>大垣市くすのき苑 所長<br>上笠自治会 会長<br>大垣公共職業安定所 統括職業指導官<br>大垣特別支援学校PTA 副会長<br>株式会社OKBパートナーズ 業務部課長<br>大垣水都ライオンズクラブ 前会長<br>情報科学芸術大学院大学 教授 |
|   | 学校側  | 田中 久仁子<br>高橋 明<br>北川 貴美<br>横山 浩明<br>若原 真智<br>肥田 幸宗<br>吉野 和博<br>曾根 良子<br>前田 教嗣 | 校長<br>事務部長<br>小中学部教頭<br>高等部教頭<br>小学部主事<br>中学部主事<br>高等部主事<br>高等部主事<br>高等部主事<br>教務主任 |   |

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 本年度の取組と来年度に向けて

- ・「小学部の本年度の取組と来年度に向けて」小学部主事より説明する。

意見1: 教職員が一生懸命やればやるほど、働き方改革は逆行する。現状を保護者に伝えるとよい。また、保護者に知らせてないことが多いと思う。対面の研修会では、来校するのが難しい保護者もいる。研修をオンラインで行ってみるとよい。

意見2: 働き方改革は時間だけではない。児童生徒が下校してから仕事ができるという使命感をもって行っているところもある。中学校では、部活をやりたがる教職員はいない。難しい課題であるが、仕事の書類等の業務も多いのではないかと。

⇒教材プリントはデータで共有化している。行事も精選してきたが今後もさらに検討していきたい。

意見3: 時間を減らすことや質を減らすことより、雪かき等地域の方と連携できることは相談してすすめていけるとよい。

意見4: 小学部は、学校生活全体において保護者や地域との連携を大切にするとよい。

- ・「中学部の本年度の取組と来年度に向けて」中学部主事より説明する。

意見1: 学校評価が低かった原因を解明した上で進めてほしい。「どうして評価が低いのか」を保護者に聞くと良い。数値は数値として捉え、あまり振り回されなくてもよい。しっかりと対応されているのでよい。

意見2: 学校評価の各項目で評価が低い理由を書いてもらう欄を追加するとよい。

- ・「高等部の本年度の取組と来年度に向けて」高等部主事より説明する。

意見1: 企業の方に作業学習で自分の役割を説明する機会はとてもよい。今後は、中学部の生徒や自分の両親に説明する機会をつくる等、自分達で考え伝える機会を作るとよい。

意見2: 小学部、中学部、高等部とそれぞれの児童生徒の実態に合わせて色々と活動しているのが非常によい。新しいことを実施するのは大変だが、教職員が無理せず頑張っているとよい。

- (2) 高等部作業製品の<sup>①</sup>新製品及び価格変更について  
 ・高等部作業製品の<sup>①</sup>新製品及び価格変更について高等部作業主任より説明する。  
 ◎新製品2点、価格変更5点、提案通りすべて承認された。
- (3) 高等部3年生の進路状況について  
 ・高等部3年生の進路状況について高等部主事より説明する。  
 意見1：現場実習を行っている企業で実際の進路先にはないが、何か問題でもあるのか。  
 ⇒生徒や保護者の意見を踏まえて進路先を決定している。  
 意見2：現場実習の受け入れ先は、どのように決めているのか。  
 ⇒事前に進路希望調査を実施し、本人と保護者と相談し、希望が出た企業に進路担当者が実習依頼を行うことで現場実習先を広めている。また、当校は長期休業中に職場開拓を行っている。時には企業様同士が情報を提供していただくこともあり、職場開拓の一助となっている。  
 意見3：今後、法定雇用率が上がる予定である。企業は不安を抱えており、急に雇用することは難しいようである。貴校を紹介してもよいか。  
 ⇒当校としてはとても有難い。ぜひお願いしたい。
- (4) 来年度の「十万石まつり」の方向性について  
 ・来年度の「十万石まつり」の方向性について中学部主事より説明する。  
 意見1：すでに神輿に飾ってある所から提灯を探すのではなく、神輿に飾る提灯をいったん別に置いて、親子で一緒に神輿に付けることができればよい。
- (5) 指導・高評  
 意見1：学校生活は、学ぶところでもあるが仲間を見付けるところでもある。自分の居場所を見付けて成長していく。児童生徒達はよく周囲を見ている。自分の好きなものから職業観に繋げていくとよい。例えば、校外学習を通して教職員が目的やねらいを説明することは、児童生徒達にとっては大きな学びになるのでよい。  
 意見2：フレンズクラブを広げてほしい。小学部、中学部、高等部と一貫教育によって成果が出てくる。地道な努力が大切である。外部の発信する力をさらにつけてほしい。  
 意見3：本年度、委員として参加し、より深く当校のこと知ることができた。学校行事が無事終わってよかった。また、当校の教室不足や課題も知ることができた。保護者も心配の声があると聞いている。来年度以降は、よい方向に向かってほしい。  
 意見4：いろいろな学習活動を見て、間接的なつながりを感じ理解しにくいところもある。社会性を重点に教育されている。活動の目的やねらいを明確にし、どうして実施するのかというメッセージも含めて外部に情報発信するとよい。  
 意見5：企業と教育と福祉と行政との繋がりは進んでいる。ネットワークを広げることが受け皿を増やしていくことに繋がる。企業としては、法定雇用率が引き上げになる中で、どうしていいかわからない企業もある。ネットワークの中で企業を広げていこうという趣旨がある。当校も企業との連携を広げることができるとよい。  
 意見6：教職員の業務は大変なので、長期休暇のお盆期間など積極的に休んでほしい。また、他にもそういう時期を作って休んでほしい。  
 意見7：2人担任制は、安心につながると思うが生徒はどう感じているか。  
 ⇒児童生徒達にとっては、特に混乱なく教職員と接している。  
 意見8：当校の卒業生が毎日頑張っている。先輩として話す機会があったがどうだったか。  
 ⇒在校生に具体的な話の後に、小集団で生の声を聞く機会を設定してよかった。  
 意見9：在宅医療ケア児の災害対応に関する研修を行うので、本校の医療的ケア児にも知ってもらおうとよい。また、小学部が専門性を高める機会として相談支援したことに対して、どこまで効果があったのか、何をもちょう向上したかの指標があるとよい。結果だけでは駄目である。他の研修も行っていると思うので検討してほしい。  
 意見10：児童生徒一人一人の可能性を伸ばす支援を実践しており、それがよく分かった。

## 6 会議のまとめ

- ・高等部の作業製品の価格について、市場価格を参考にして価格設定されており、新製品も含めて適正であると判断され、承認が得られた。
- ・働き方改革に関して、保護者の意見は否定的というより「分からない」という回答が多い。今後は、学校評価の様式や方法も含めて保護者の理解を得られるように検討していきたい。
- ・今後も関係企業や関係機関との連携を図り、本校の就労先を拡張していきたい。
- ・学校評価の低い項目については、原因をしっかりと分析し、その上で具体的方策を実践していきたい。引き続き本校の教育活動について、保護者を含めて外部へ発信していくことに尽力していきたい。